



内部被ばく線量の計算に必要となる摂取量の推定には、体の中から出てくる γ (ガンマ)線を直接測る体外計測法と、尿や便の中にある放射性物質の量を測るバイオアッセイを用いる方法があります。

これらの方法で得られた結果から、放射性核種の摂取時期、化学形、摂取経路（吸入、経口）等を勘案し、どのくらいの割合の放射性物質が体に残っているか、排泄物中にあるかを数理モデル（上巻P55「内部被ばく線量の算出」）から計算し、摂取量を求めます。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2015年3月31日